

社会ニーズの変化に伴う 近年の公共施設の動向

0 近年のうごき

●社会ニーズの変化に伴い、公共施設を取り巻く環境は変化

【要因】

- 人口減少、少子高齢化に伴う世代構成の変化
- 価値観・生活スタイルの多様化
- 厳しい財政状況への対応

【新たな動き】

- 利便性が高い公共施設の整備、用途の転用(例:高齢福祉施設への転用)
- 様々なことができる公共施設、機能の多機能化
- 民間活力の活用による新たな価値観の創出
- 公共施設の統廃合・集約化・複合化



厳しい財政状況の中で社会ニーズの変化・多様化に対応
していく必要があります。

1 利便性の高い公共施設の整備(長岡市の事例)

●民間との役割分担の変化、パーソナルな場所・居場所としてのニーズの顕在化

- 庁舎機能(本庁・窓口機能と災害対策本部以外)をまちなかに分散配置しています。
- 一方で全天候型の「ナカドマ(屋根付広場)」で、1階&ガラス張りの「議場」やナカドマと一体利用可能な「アリーナ」を整備し、立ち寄りやすい施設を整備しました。
- また本施設は長岡駅近に整備され、利便性の高い施設ともなっています。

ナカドマ

全天候型の施設で、ミニライブ、展示会、結婚式など自由な発想で様々な使用ができる「ハレの場」

- コンビニ・カフェを併設
- セブン-イレブン長岡アオーレ店 AM7:00~PM11:00 (年中無休)
- モスバーガーアオーレ長岡店 AM7:30~PM8:00 (年中無休)



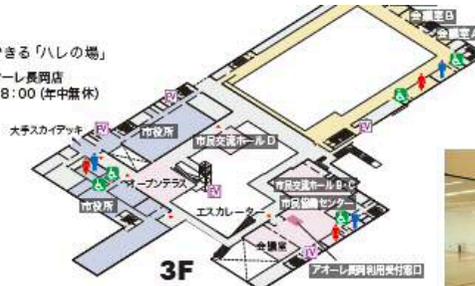
300インチ大型ビジョン
市政・観光情報など様々な情報を発信するほか、館内ライブ中継やパブリックビューイングも開催

3階オープンテラス
大手スカイデッキから続く開放的なオープンスペースで、ミニコンサートや展示などの利用に

シアター

長岡花火や地域が誇る宝を、ここでしか見ることができない臨場感あふれる実写3D・4K映像で体感できる空間

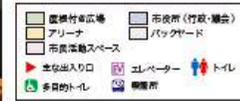
49席、240インチスクリーン



3F



1F



アリーナ

最大約5,000人を収容でき、スポーツ、コンサート、物産展などの大規模なイベントを展開
ナカドマに面する大開口扉を開ければ大手通りから続く巨大空間が出現

フロア面積2,200㎡ 天井高12.5m 会議室3室、多目的室3室、控室4室、更衣室



市民交流ホールB・C・D

3階テラスに面したガラス張りの明るいホール。サークル活動や講演会など使い方は自由自在 (B・Cは一体利用が可能)

B:210㎡ C:160㎡ D:110㎡

市民交流ホールA

各種発表会や演奏会の利用に最適。可動席・仮設ステージを収納すれば、広々としたフローリングフロアでダンスやレクリエーションの利用もOK

フロア面積320㎡ 天井高4.8m 楽屋2室



ホワイエ

小国和紙を全面に用いた光壁で落ち着いた雰囲気。展示ギャラリーにも最適



出所)シティホールプラザ アオーレ長岡HP
<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/ao-re/index.html>

2 高齢者増に伴う用途転用(市原市、春日部市の事例)

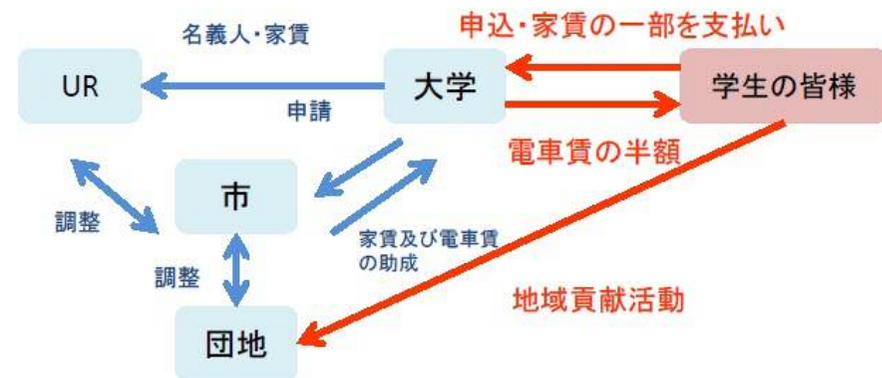
●高齢化の進展に伴う新たなニーズの顕在化

- 娯楽や慰労の目的で利用されていた老人福祉センターに、健康維持や機能回復に関する相談窓口が設置されるなど、介護予防としてのニーズが顕在化しています。
- 入居者の高齢化が進む公団住宅において、地域の大学に通う学生に住んでもらい(行政が家賃・電車賃等を助成)、世代間交流や地域貢献活動の活性化を図る取組みが行われています。市営住宅についても同様のニーズがあることが想定されます。

図:老人福祉センターの大広間と生活健康相談室



図:公団住宅への学生の居住促進



※出典:市原市ホームページ
http://www.city.ichihara.chiba.jp/shisetsu/comyu/sisetu_kikuma/roujin.html

※出典:春日部市HP 官学連携団地活性化推進事業
<http://www.city.kasukabe.lg.jp/seisaku/kyouiku/sankangaku/danchikasseika/0>

3 様々なことができる公共施設の整備(蒲郡市、武蔵野市、鹿児島市の事例)

●民間との役割分担の変化、パーソナルな場所・居場所としてのニーズの顕在化

- 以前は市民会館や市の斎場で冠婚葬祭を行っていましたが、民間の結婚式場等を利用するようになってきました。
- 図書館や公民館についても、本を読むといった従来の利用方法だけでなく、パーソナルな場所(例: 自習室)としてのニーズや、ふらりと立ち寄れる「地域の居場所」としてのニーズが顕在化しています。

図:市民会館での結婚式



※出典:蒲郡市ホームページ 広報がまごおり昭和48年11月号
<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kohogamagori/kouhou-4811.html>

図:図書館のワークスペース、カフェ



※出典:武蔵野ブレイスホームページ 武蔵野ブレイスパンフレット
http://www.musashino.or.jp/data/place/pageview/pageview.html#page_num0

図:民間商業施設においても「地域の居場所」や「交流拠点」を設置(鹿児島市「マルヤガーデンズ」の料理教室・イベントスペース)



※出典:マルヤガーデンズホームページ <https://www.maruya-gardens.com/>

3 様々なことができる公共施設の整備(千代田区、新潟市の事例)

●地域内外に対する「拠点」としてのニーズの顕在化

- 図書館に子育てセミナー等のイベント開催スペースや地域情報等の発信・案内コーナーが設けられるなど、「地域の拠点」としてのニーズが顕在化しています。
- 美術館に地域特産品をモチーフにしたセレクトショップが併設されるなど、「対外的な情報発信拠点」としてのニーズが顕在化しています。

図：地域の拠点機能を果たす図書館の一部



※出典：千代田区図書館ホームページ
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/facilities/chiyoda/>

図：美術館内に地域特産品をモチーフにしたセレクトショップを併設



※出典：新潟市美術館ホームページ
<http://www.h03tr.com/lululu.html>

4 公共施設の多機能化・複合化(流山市、立川市の事例)

●子どもの数・教育内容の変化による学校に対するニーズの変化

- 子どもの数が少なくなり、少人数学級を設定する学校が増えてきました。
- 教育内容が変わり、学校内で必要とされるスペースが変わってきています。
(例:固定教室ではなくオープンスペースを設ける、学校でパソコンを利用した授業を行う等)
- 核家族化が進み、帰宅しても家族が不在のため、放課後児童クラブなどの居場所に対するニーズが顕在化しています。
- 地域との交流を図るため、生涯学習施設や図書館等と複合化した学校も増えています。

図:オープンスペースと一体化した教室



※出典:「森的な密度を持った小中併設校 流山市立おおたかの森小中学校」
『GAJAPAN』134号,A.D.A.EDITA Tokyo

図:地域開放も視野に入れた体育館の分館化



地域開放を前提として
体育館を分館化し、
生涯学習施設と複合化。
2棟を渡り廊下で繋ぐ。



※出典:「モードチェンジできる都市型小学校 立川第一小学校」
『GAJAPAN』134号,A.D.A.EDITA Tokyo

4 公共施設の多機能化・複合化(八千代市の事例)

●学校と生涯学習施設の複合化(萱田南小学校)

- 八千代市立萱田南小学校は八千代総合生涯学習プラザに隣接しており、施設の一部を共用利用。
- 体育館、プールは一般利用が可能
- 特別教室(音楽室、図工室、コンピュータ室、家庭科室)は一般開放されています。



4 公共施設の多機能化・複合化(八千代市の事例)

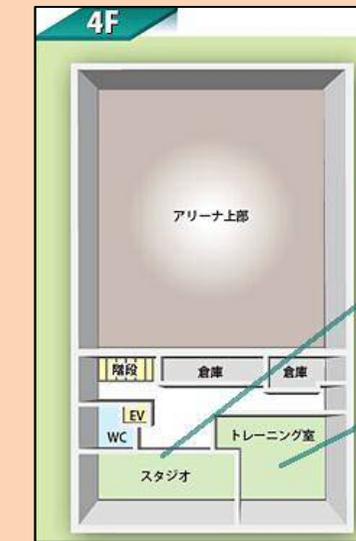
●学校と生涯学習施設の複合化(萱田南小学校)



一般エリア

学校エリア

体育館(アリーナ)、プール、特別教室(音楽室、図工室、コンピューター室)は小学校と総合生涯学習プラザで共用。



4 公共施設の多機能化・複合化(室蘭市の事例)

●市民会館とショッピングモールの複合化(室蘭市市民会館)

- 市民会館とショッピングモール「ぷらっと。てついち」の複合施設。
- 市民会館(ホール+会議室)、市立図書館分室、民間店舗(スーパー、飲食店、子育て支援施設等)が入居。
- 建設を民間事業者が行い、整備後に市民会館部分を市に売却する形をとることで、市の財政負担を軽減。市民会館・図書館の運営は地域住民が実施。



※出典:日本政策投資銀行北海道支店「公民パートナーシップ(PPP)の展開～北海道を中心とするPPP導入の現状と課題～」

http://www.dbj.jp/reportshift/area/hokkaido_s/pdf_all/hokkaido14.pdf

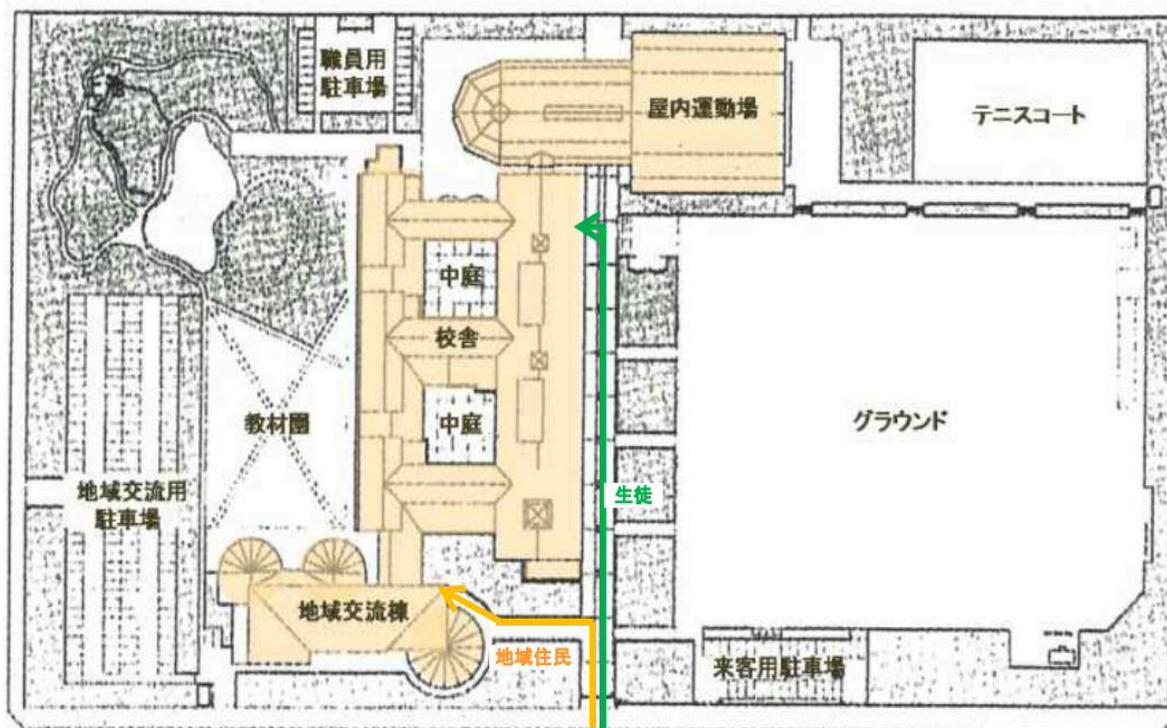
室蘭市ホームページ、室蘭日報2011年10月24日(火)朝刊「室蘭の複合施設ぷらっと・てついちが地域の核担い10年」

http://www.muromin.mnw.jp/murominn-web/back/2011/10/24/20111024m_04.html

4 公共施設の多機能化・複合化(聖籠町の事例)

●学校と地域交流施設の複合化(聖籠中学校)

- 聖籠町立聖籠中学校は地域交流ラウンジを複合化。
- 学校の周囲には囲障は設けておらず、開かれたつくりとなっています。
- 防犯上の対策として、地域交流棟の入り口でボランティア団体のチェックが行われています。



町民アカデミーや編集工房といった地域活動の場が設けられている。また、地域住民が自主的に管理を行うことで、いつでも気軽に利用できる場を目指している。

※出典: 聖籠町立聖籠中学校ホームページ <http://www.seiro.ed.jp/>
文部科学省発布資料

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/013/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2014/01/13/1344044_4_1_1.pdf

4 公共施設の多機能化・複合化(嘉麻市の事例)

● 学校と社会教育施設の複合化(山田小学校)

- 嘉麻市立下山田小学校は小学校の敷地内にホール・会議室・調理場といった社会教育施設を併設させ、地域コミュニティの核を形成しています。
- 地域住民の学習拠点として、また児童との交流の場として機能しています。



その他にも図書室やアリーナ、運動場などが地域開放施設として利用されている。



地域におけるイベントで利用する一方、式典の会場等として学校の行事においても利用。

調理場・和室が併設しており、家庭科の授業やクラブ活動で利用。



4 公共施設の多機能化・複合化(平塚市の事例)

●学校と公民館の複合化(大原小学校)

- 平塚市立大原小学校は公民館との複合化を実施しました。
- 公民館の新設時に、3階建ての建物の2階部分を学校施設とし、隣接する校舎と渡り廊下で接続しました。
- 2階部分にはコンピュータ室と音楽室があり、授業のないときは一般利用が可能です。

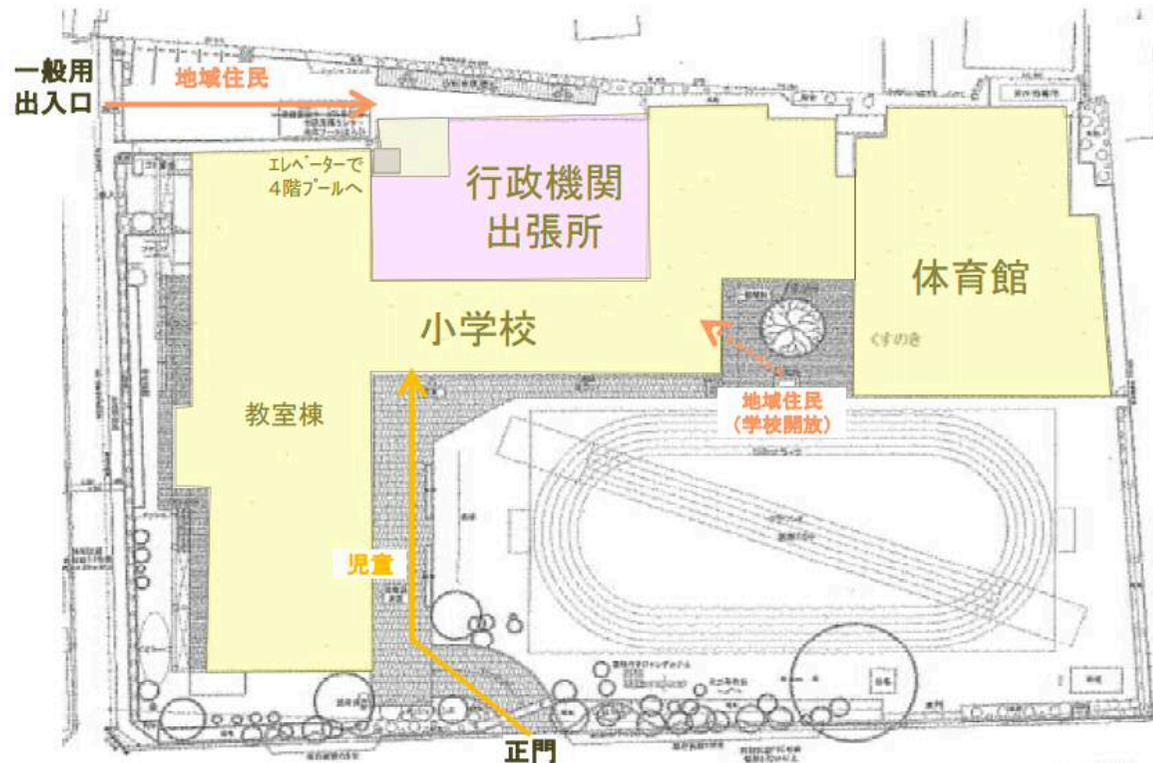


複合化の結果、公民館行事への児童の積極的な参加、学校の音楽室における住民参加の音楽会といった交流がすすめられている。

4 公共施設の多機能化・複合化(目黒区の事例)

●学校と行政機関出張所の複合化(碑小学校)

- 目黒区立碑小学校は小学校に行政機関出張所を複合化。
- 敷地および建物への入り口を別々に確保することで防犯対策としています。
- 市民プールも併設されており、児童の授業で利用されています。



学校と地域の動線を分離

開放を行う体育館やホールは1階に集中させ、解放用の入り口を設けるなどの工夫。また、開放部分とそうでない部分の間には施錠可能な扉を設置し、児童の安全を確保。

